

平成27年度 第2回山田町総合教育会議 会議録

- 開催日時 開会 平成27年12月24日(木) 午後1時30分
閉会 平成27年12月24日(木) 午後2時47分

- 開催場所 山田町役場 4階特別応接室

- 出席者 佐藤 信 逸 町長
山崎 喜 六 教育委員長
長崎 千 秋 教育委員
小野寺 恵 美 教育委員
佐々木 毅 教育長

- 欠席者 上澤 富士夫 教育委員

[事務局]

花坂総務課長(オブザーバー)

佐々木教育次長兼学校教育課長、菊池生涯学習課長、田畑学校教育課課長補佐

- 傍聴者 なし

- 内 容 次のとおり

1 開会(田畑学校教育課課長補佐)

2 町長あいさつ

年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。本日は、教育委員長さんをはじめ教育委員の皆さんと忌憚のない話ができて、子どもたちのためになる会議になれば良いと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 教育委員長あいさつ

貴重な会議ですので、よろしく願いいたします。

4 協議事項(座長:佐藤町長)

(1) 今後の教育の在り方について(説明:佐々木教育次長)

- ・児童生徒に対する心のケアについて

[佐藤町長]

心の問題で悩んでいる児童生徒は多く、多様化、複雑化しているとのことであります。

また、来年度は、学校支援員を1名増やしたいとのことでありますが、心のケアについて委員の皆様からご意見等があれば伺いたい。

[山崎委員長]

スクールカウンセラーの派遣で、豊間根中学校のニーズに応じて回数が増えたようであるが、何かあったのでしょうか。

[佐々木教育次長]

悩みが多いため増やしたのではなく、学校サイドから訪問の時間を増やしてほしい旨要望があったため回数を増やしたものです。

[佐々木教育長]

県費負担であるが、被災地に対する配慮があった。豊間根中学校は被災していないが、学校からの要望もあり入っていただきました。

[佐藤町長]

心の問題とは具体的にどのようなもので、その原因は何なのでしょう。

[佐々木教育次長]

対人関係や先生との関係、親との関係もあるようです。特に、友達関係の問題が多いようです。

[山崎委員長]

人間関係の構築が弱くなってきたのは確かであると思います。

[佐々木教育長]

町長の質問にお答えするとすれば、特別支援制度等がだいぶ制度化されてきて、学問も進んできました。昔も困っている子どもはいたが、結果的に高機能障害という凡例が多くなり、そのニーズに対応しなければならないことから、医学やら発達支援が進んできてスクールカウンセラーをはじめとした専門員を配置するようになったと思います。複雑化したというよりは、外枠を文科省できちんとしたというのが本当のところだと思います。山田町は、ひとり親家庭が多いことなどから、巡回型でもスクールカウンセラーを入れなければ難しい地域であると思います。

[山崎委員長]

不登校の児童生徒は何人でしょうか。

[佐々木教育次長]

小学生が4名、中学生が17名です。

[佐々木教育長]

全欠は3~4名です。

[小野寺委員]

阪神大震災の時には、数年後に心の問題が出てきたと聞いたが、スクールカウンセラー等の配置は今後も続くのでしょうか。

[佐々木教育長]

現場としては、必要性を訴えて要望していきます。

[佐藤町長]

竹下前復興大臣は、心のケアについては、予算措置をしていくと言っていました。

[佐々木教育長]

スクールカウンセラーの人材確保は非常に難しいようです。

[山崎委員長]

アニバーサリー反応があると思うので、長期的に考えていかなければならない問題であると思います。

[佐藤町長]

この件については、いつ出てくるかわからない面もあるので、心して対応していくこととしたいと思います。

[佐藤町長]

その他、ご意見等ございますか。

[一同]

ありません。

・山田町立小中学校児童生徒数推計一覧

[佐藤町長]

推計値については、今後の住宅再建等により学校ごとの数値は変動する可能性があるが、出生率からみて総数はほぼ資料のとおりであるということでもあります。

総合戦略の中でも、出生数を微減にしていこうと知恵を絞っているところではありますが、これについてご意見等あれば伺いたいと思います。

[長崎委員]

全国的に出生率は下がっています。高校や大学を卒業した後、山田に戻ってきてほしいと思うが、そのためには仕事や観光に魅力がないといけません。今のうちに小中学生が町のイベントに関わるような工夫が必要だと思います。

[佐藤町長]

そのとおりではありますが、なかなか難しい問題であります。山田町ではほとんどの企業で求人があり仕事はあります。学校給食の無料化をしている自治体でさえも減っているところがあるようです。

[小野寺委員]

資料を見ると寂しい気持ちになります。子育てがしやすいことから増えている自治体もあるようですが。

[佐藤町長]

どの自治体でも苦勞しています。財政力の強いところに人が集まることになるので、サービス合戦になっては駄目だと国、県でも警鐘を鳴らしています。

[山崎委員長]

今日のニュースでは、県立高校の再編について、宮古工業と宮古商業が統合すると発表していました。町長が結論を出すと思いますが、遠からず町内の小中学校でもその時がくるという認識でよろしいでしょうか。

[佐藤町長]

統廃合については、避けては通れないものと思っていますが、震災後の子どもたちの心がもう少し落ち着いてからだと思っています。

[山崎委員長]

地域の方々は、学校に対する思いはものすごくあるので、大事にしていかなければならないと思っています。

[佐藤町長]

この件について、その他ご意見等はございますか。

[一同]

ありません。

(2) その他教育課題について

[佐藤町長]

中学生による喫煙問題があり心配しています。この件以外でも構いませんが、委員の皆様方からご意見等ありますでしょうか。

[山崎委員長]

喫煙の話が町長さんから出ましたが、それ以外の生活の様子はどうでしょうか。

[佐々木教育次長]

全体的には落ち着いていますが、一部の中学生が授業を抜け出したり、器物破損をしたりあります。喫煙については、たばこを購入しに行ったところを2名の生徒が補導されました。

[佐藤町長]

これについて教育長、学校側の対応はどうか。

[佐々木教育長]

委員会では、すぐに指導主事、課長補佐で観察しながら学校訪問しました。正直なところ学校の指導が通らない生徒が出てきたようです。管理職の強いリーダーシップが必要であり、学校が親身になって対応しなければ改善されないということは理解していただきました。経験から言えば、今きちっとやらないと、子どもたちが集団化すると誰の手にも負えなくなります。

定例教育委員会でもこれについては理解していただき、我々も含めてみんなで支えていかないといけないと思います。

[山崎委員長]

LINE等により町外の方にもいろいろな情報が入っているようです。

[佐藤町長]

携帯電話を持っている割合はどれぐらいか。

[佐々木教育次長]

成果に関する調べの中では、中学生が42.3%、小学生が9.5%となっています。

[山崎委員長]

問題はモラルです。利用の仕方。

長いスパンで山田町全体の民度を上げる必要があると思います。そういう意味でも、町立図書館が欲しいと思います。地方創生においても町づくりの主役は図書館だとある。町にはスポーツ施設はあるが図書館だけは仮の宿となっています。先日、中学生が勉強していたが、人が入るたびに振り向き集中できる環境ではありませんでした。健全育成はずっと課題でした。町民の民度を上げることがない限り、子どもたちの問題行動は出てくるのではないかと。

教育は人なりというが、教育住宅をつくり住む場所の確保が必要だと思います。高台団地の整備中であるが、今すぐとは言わないが優れた教員を確保するためにも教員住宅の整備もお願いしたい。玄関から玄関の通勤では、地域の方々とふれあいはできません。宮古、釜石方面からの通勤よりは、子どもたちと接する時間も長くなります。

考えたが、用途を明確にして町立図書館の建設のために、ふるさと納税の協力を呼びかけてみてはどうでしょうか。山田の子どもたちのためにと。

[佐藤町長]

直接は関係ないが、災害公営住宅が来年、再来年には完成するが、自然減によって空

き家が増えていくだろうと。被災者以外は入居できないとなっていて、空き家対策についてはどこも知恵を絞っている。

図書館については、(仮称)子ども交流センターの利用状況等も見ていきたいと思います。

[佐藤町長]

その他、何かございませんか。

[一同]

ありません。

5 閉会（田畑学校教育課課長補佐）